

社長が薦める今月の一冊

日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか
竹田恒泰著 PHP新書



オイルリサイクル協同組合の池田専務様から頂いた本です。池田様の意図は、今の日本人は自分の国に自信と誇りを持たなくなったことを危惧されてと思います。

3月3日の新聞に「英高速鉄道 日立受注へ」という記事がありました。英政権側は、6000億円をかけ既存の車両を新型に置き換えて、安全性と効率を高めるのが目的である。日立は英国に工場を建設し、電化区間と非電化区間が併存する路線で使用するために、ハイブリッド車両を製造する。保守事業を合わせた契約になるというのです。

この本によると、1853年ペリー提督が日本へ初めて蒸気機関車の模型を持ち込んだ。早くも2年後には佐賀藩は全国からすぐれた技術者を集め、蒸気機関車の模型を走らせることに成功したとあります。

この日本のすぐれたものづくりの技術は新幹線に花開き、以来50年にわたって安全と時間を守るという日本固有の文化へと進化している。その両面が世界に認められたと私は理解します。

自分たちの良さを強く認識したい。(山根)

蔵書新着状況

- ・日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか
竹田恒泰 PHP新書
全国オイルリサイクル(協)専務理事 池田様から寄贈
- ・トリプルバルーン痩身法 下村朱美 アートデイズ
シェイプアップハウス代表取締役下村様から寄贈
- ・「青春」という名の詩 宇野収・作山宗久
産業能率大学出版部
- ・キミが勉強する理由 藤原和博 朝日新聞出版
- ・別冊太陽 出雲 神々のふるさと

編集後記

「女子会」の次は「女子旅」がブームになりそうだ。以前、「母娘旅」がブームになったことがあるが、女同士は気楽で話が合いやすいという感がある。また、飲食店等で、女性限りの特典など、社会は女性にお得で優しい。ショッピング、エステ、食べ歩き等、女ごころをくすぐる旅行商品がたくさんでている。海外ツアーに出掛ける女性の数が年々増加しているという。旅行会社はこれを放っておかないだろう。旅のスタイルは多様化し、広告を見るだけでも楽しい。旅行も女性をターゲットにすればヒットするに違いないと思う。

(長野)

ちょっといい話 15



エコス通信クイズ当選者に賞品をお届けし、感想を伺ってきました。当選者は、以前、工場見学にお子様連れで参加された方です。

- 感想は次の通りです。
- ・本の紹介、感想等、ためになる。
 - ・こころにしみる話(感動話)は心がほっこりしてくる。
 - ・工場の様子などがわかってよい。
 - ・当社業務である、廃油を収集して新しい燃料をつくることは、とてもいいことだ。
 - ・以前、工場を見学したが、臭いも無くきれいにしておられた。

毎月、楽しみにして頂いているということで、たいへん励みになります。これからも、周りの皆様から素晴らしいといわれる会社をめざしていきます。(長野)

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名様に賞品を差し上げます。今月の賞品は、**島根特産板わかめ**です。締切は3月末です。奮ってご応募下さい。

Q: 今年は何事記編集○年です。それに合わせ島根でも様々なイベントが開催されます。○に入る数字は?



先月号の答は「里見香奈さん」でした。抽選の結果、伯耆町矢田貝様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

発行日: 毎月10日
発行: 690-0025 島根県松江市八幡町796-20
TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472

山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野
E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp
印刷: 授産センターよつば 印刷係
ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)



『感動』

地域とともに、育つ



2月18日～19日、is youが開催された。開店から2時間くらいで、ほとんどの商品が売り切れた。市民の皆さんに大好評だ。

Is you・・・驚きの全商品売り切れ

日ごろの学習成果の発表と地域の人々との交流の場として、出雲養護学校 is you(イズ ユウ)は第19回を迎え、地元出雲市では定着してきている。

もともとの発端は、保護者の交流の場であったが、市内のショッピングセンターで開催することにより、市民の方々に認知され、にぎわうようになった。毎年楽しみに来て頂いている常連さんもあるほどだ。

高等部2年以上の生徒は、普段から作業学習を主とするカリキュラムで、働く基礎の力を育て就職につながるよう、日々取り組んでいる。2月の is youと10月の学習発表会での製品販売が高等部の生徒にとって最も重要な行事なのだ。

販売当日、生徒たちは、レジ打ち、包装、接客等の仕事の中で、気持ちのいい接待をして、お客様に喜んでいただく。生徒たちは、緊張感をもって自分の仕事を全うし、達成感をもつ。そして、毎年繰り返すことによって、自信をつけていくのだ。

二日目(2/19)、レジ係の女子生徒は、「接客は難しく大変だ。しかし、自分が作ったものが売れるとうれしい。成型から絵付け、窯焼きまで自分たちで行った」と、笑顔で話してくれた。生徒たちの元気で大きな声、明るい笑顔に、私たちも元気をもらい、笑みがこぼれる。

地域に見守られ、育てられ、生徒たちははりっぴに成長していく。そんな姿に感動を感じる。(長野)

原稿を公募します 本誌の原稿を公募します。800字～1000字程度で、身近な出来事をテーマにしたものを希望します。随時受け付けます。内容により不採用の場合はお許しください。編集部あて、どんどんお寄せ下さい。薄謝を差し上げます。

お客様訪問

荒木燃料株式会社
代表取締役社長 荒木良明 様

〒690-0025 島根県松江市八幡町796-20
TEL 0852-37-1216
FAX 0852-37-2491



笑顔で応える、
荒木社長様

年末年始の大雪で、至る所でさまざまな感動ストーリーがあった。
このたびは、荒木社長様からたくさんの感動をいただいた。

不眠不休の感動ストーリー

正月に油の供給を止めないために、毎年大晦日に、お客様先を廻り、燃料を満タンにする作業を行っている。社員総出（資格者）で、もちろん荒木社長様も作業に加わり、お客様先を駆け回る。12月31日は、琴浦町の家畜場に向かい、大雪に見舞われ、帰社が1月2日になったということだ。積雪による大渋滞に巻き込まれたのだ。

ひよこは通常2ヶ月で大きくなるが、暖めると成長が早いので、45日間は暖房が必要になる。だから、正月のあいだ油やガスを切らすことはできない。毎年、年末ぎりぎりまで、お客様先の燃料を満タンにしておく必要がある。琴浦町での作業は、昼に終わったが、作業中あっという間に積雪し、大吹雪の中、雪かきをしながら国道まで出て、さらに大渋滞に巻き込まれてしまった。



1月1日におにぎり1個とお茶の配給を受け、とても有り難かったという。1月1日の午前中には、吹雪は収まったが、渋滞はいっこうに解消されなかった。

そこまでやってくれるのか

さらに、一般家庭等のガス等の配送も、正月休みなしだった。事務職を除き全員出社して、夜中の2時頃までかかって、雪かきをしながら行われた。積雪量が多く、通常の配送サイクルでは対応できないとの判断からだ。また、各家庭の燃料在庫管理は2度の検針である程度把握できる。しかし、寒い時期になると使用量が急激に増えることがある。燃料の在庫を機械で管理し、残量が少なくなった場合、警報でコンピュータに情報伝達する。たまに誤作動しガス漏れのクレームもあるそうだ。通常冬期に2～3件くらい、ガス切れのクレームも入るが、このたびは、この大雪なのに、クレームゼロであったと社長様は誇らしげだった。お客様から、「そこまで、やってくれるのか」と喜んでいただいた。

社長自らが大雪による渋滞に遭遇しながら配達していることが、従業員をも巻き込み、「お客様先のガスを切らさない」という使命感につながった。

お客様には迷惑をかけられないという強い使命感がひしひしと伝わってきた。どんな仕事でも責任をもって、遂行しなければいけないということを改めて感じた。

(長野)

構内は整理整頓が行き届いています。



一斉清掃の実施

一斉清掃は4周年を迎えた。河上5Sリーダーは、次のように感想を述べました。「4年間やってきて、一斉清掃が定着してきた。指示をしなくてもみんな自分から動いている。一斉清掃の時だけでなく、日頃からゴミを「拾う」「捨てる」を徹底していこう。」

4年前はかなり構内も汚れていた。構内はキレイになっているが、周辺はまだまだ汚れている。空き缶やペットボトル、タバコの吸い殻やタバコの箱までも捨てられている。これからも継続していきましょう。

(恩村)



溶接の師

昨年11月より、鎌田さんから藤原社員に溶接技術を教えていただいている。

鎌田さんは、昭和32年大阪の富士車輛という会社に就職し、圧力容器関係の部署で溶接技術を修得し、資格を得た。その後、溶接管理溶接部の検査等の経験を積んだ。

また、中国進出が珍しい時に、中国での仕事の開拓に伴って、現地での仕事も経験した。その挑戦者精神は、想像を絶するものだ。

縁あって、当社への技術指導となった。

「40年間で得た経験、技術が少しでも伝えられ、山陰興業の発展に寄与できれば幸と思う。早く藤原社員を一人前にし、自社でタンクがつけられるよう、指導していく」と、力強いお言葉をいただいた。山陰興業の技術力向上に大いに期待します。(長野)



鎌田さん（写真左）と教える藤原社員



「しろいうさぎとくろいうさぎ」 を読んで



かわいらしい動物の代名詞的なウサギが主人公のやさしい愛の話でした。初めて読んだ時にはどんなハッピーな話？と思いましたが、静かな、少し悲しさも覚えるような展開に感じました。やがてそれは最高の幸せへと続いていきます。私が忘れかけていたことだなあと感じます。

ただ、このうさぎたちは“結婚”という幸せへとたどり着くのですが、大好きな人とずっと一緒に居たいという気持ちは日々、持ち続けています。

私の娘もこの絵本が気に入っています。かわいい、本物らしいうさぎと、美しい花の絵が好きだと思いますが、いつかは、友達であったり、パートナーである人を大切に思うことをこの本から感じてほしいなと思います。

(足立)



山陰興業OB会開催

昨年の準備会に続き、このたびは広く参加を呼びかけ、2月26日、出雲にて開催した。皆さん多忙な中、十数名の参加をいただいた。会社創成期のOBの方々は苦勞した分、連帯感も強いであろう。時々逢って旧交を温めることはとてもよいと思う。昔話に花が咲き、そして、進化した現在の様子、またこれからの方向などを歓談した。

ある先輩は、「このような会に呼んでいただけて大変うれしい。また、OB会の存在がわれわれの心の拠り所となる。われわれもいつも会社の発展を願っている」と、応援のメッセージを頂いた。

先輩達に応援をいただきながら、ますます会社の成長・発展を誓った。(長野)



それぞれの山陰興業での歴史を語り合った。



この地域になくてはならない存在になる

・周りから、お客さまから素晴らしいと言われる社員と会社になる・

社長 山根久志

昨年末からの豪雪の最中、こんな感動的な物語がありました。

ビニールハウスからの重油流出の最終処理は、1月15日付近住民の皆さんとJA職員の方たち総勢20数名が集合しました。この大勢のボランティア活動によって、短時間のうちに一挙に解決。処理の難しさと汚染範囲が広がっただけに、当事者の方だけではとても処理しきれないので、私の心配はその瞬間吹っ飛びました。

隣人が困っているときに、労をいとわず、一つの目的に向かって、黙々と仕事をこなす。この地域の人たちの団結力は、長い間かかって育てられた相互扶助の精神によるものです。自分達の地域をもっと良くしようという伝統的で、自発的な考えから来るものです。

「家庭へのガスと灯油の供給を一瞬たりとも途絶えさせてはいけない」と全員出社、正月休みなし。午前2時まで雪かきしながら、各家庭へ配送に回る。社長自らは琴浦町へ配送の帰途、あの異常な交通渋滞に遭遇し、ようやく2日夜に帰社した。その間食事は一日にぎりめし一個。

「エネルギー供給会社として、どんなことがあってもお客さまにご迷惑をかけない」という理念を社員の皆さんと共有するこの会社は、この豪雪中でもクレームゼロ。お客さまから「ここまでやってくれるのか」と誉めていただいたと、社長が達成の喜びを熱弁ふるってくれました。

国民の幸福を実現すべき政治家たちが、自分の権利だけを醜く主張している。それをマスコミが騒ぎ立てる。そんな暗くなりがちな時代ながら、この二つの例は、日本の明るい面を力強く示してくれています。

安岡正篤（まさひろ）師は、「愚は愚なりに、一つのことを何十年と継続していけば、必ずものになるものだ。別に偉い人になる必要はないではないか。社会のどこにあっても、その立場立場においてなくてはならぬ人になる。その仕事を通じて世のため人のために貢献する。」と説かれています。

私たち一人ひとりの意識と行動が、国の品格を決め、私たちの社会の将来を決めます。私たちはこの地域になくてはならない存在になります。

私はこう考え、こう実行します

【安原】

お客様に強く必要とされ続けるために、要求以上のことをして差し上げる。

【松下】

相手のことを考え、行動する。

【岸本】

お客様の立場に立って考え、行動する。思いやりのある行動をする。

【福間】

もっと地域の人たちとコミュニケーションをとり、名指しで呼ばれるようになる。

【福島】

地場の利をもっとアピールする。

【吾郷】

何事にも積極的に行動します。

【木村】

製造設備の改善を進め、お客様にいつでも製品をお届けできるようにする。

【大國】

自分のためにではなく、誰かのためにを考え行動する。

【山口】

私は安心してオイル交換ができる環境をつくります。

【榎並】

お客様からの問い合わせや相談に素早く対応し、解決します。

【松本】

助け合いの精神を大切にします。

【岡田】

お客様の役に立つ社員になります。

【植尾】

自分にできることを一所懸命やり続ける。

【高橋】

私は報告、連絡、相談を徹底します。

【恩村】

お客様の立場に立った電話対応を心掛けます。

【藤原】

お客様に必要とされる存在になります。

【村上】

世のため人のために貢献できるよう、求められていること以上に行動します。

【中村】

現場にて、安全作業ができるよう、常にチェックし実行します。

【清水】

いつも明るく、積極的に行動します。

【足立】

自分に与えられた仕事を確実にやり、さらに自分に出来ることを自ら求め、チャレンジします。

【長野】

お客様からご指名をいただけるような、エコス通信を目指します。



クレーム報告

2月4日9:30頃女性の方からお電話を頂きました。当社の運転マナーに対してのクレームでした。タンクローリーの運転に危険を感じて電話をされたのです。

危険な運転に遭遇して危なかったことや嫌な思いをした経験は誰にでもあります。直接苦情を訴えることは滅多にしません。この女性がどれだけ怖い思いをされたのかが想像できます。

私たちは毎月安全講習会を実施して「安全運転」や「安全作業」を行うために勉強しています。しかし今回のクレームはそうした技術的なことではなく、その技術を使う人の問題です。

全てのお客さま活動は人と人との関係において成り立っています。どんなに優れた技術があってもそれを使うのは人であり、お客さまに喜んで頂かなければ単なる自己満足でしかありません。

車の運転に限らず、地域や私たちを取り巻く全ての人に、思いやりと感謝の気持ちを持ち、お電話を頂いた方に対して心から感謝して、具体的な対策を立てて今後の教育に役立てます。

「周りから素晴らしいといわれる人と会社」になりましょう。
(安原)



環境セミナー

「省エネ対策と経費節減について」を受講して

平成23年2月21日

省エネルギーは事業活動のひとつで、事業の責任者が目標を明確に示し、やるぞと宣言する必要があります。そして、継続的に実施する仕組みをつくり、皆にわかるように見える化し、全員参加しなければならない。省エネルギーは環境活動のひとつであるから、まさにISO14001の活動として、取り組むことができると思う。

また、当工場では蒸気ヘッダーやドレン回収ポンプが新設されるなど、初期段階ではあるがようやく設備の改善が行われるようになった。これらは、省エネ対策に大きく寄与するものと思われる。工場設備の安全に配慮した改善も経費節減に大きく貢献すると考えられる。

いずれにしても、明確な目標をトップダウンして、厳しく取り組む必要があると感じる。
(長野)



2月の安全講習会

今月の安全講習会は、2月4日に発生したクレームを議題に上げて実施した。

今までは、車両その他の点検方法、操作方法、事故が発生したときの対応などを主題として教わってきました。しかし技術的な方法論を学ぶことも大変重要なことであるが、今回のクレームはその学んだ技術を使う人の問題であるとの考えに基づいて行いました。

誰も時間に追われてイライラしたり、考え事をしていてボーッと運転することがあります。人間である以上しかたのないことですが、そのような時に、自分の心をどのようにコントロールして周囲に気を配って思いやりのある行動ができるか。皆で考えました。具体的な例を挙げると、

- ・もみじマークの車が前に来たら、次の仕事を急ぐときでも安全を考えて心を静め、ゆっくりと後をついて行く。不思議なことにその後、前の車は曲がっていく。

(松本)

- ・遅い車がいったり、渋滞でお客さまとの約束の時間に遅れる可能性があるときは事前に連絡を入れて気持ちに余裕を持ってゆっくり行く。また、プライベートと仕事で気持ちを切替える。(植並)

- ・遅い車があると自然に車間距離が縮まる。安全第一で流れに任せる。大型に乗っているときは、特に車間距離を十分に取るように心がけている。(松下)

- ・前の車から2秒遅れて走るようにしている。イライラしたときはとにかく車間距離を取って運転するように父から教わった。それを実行している。(勝部)

などがあった。

運転にはその時の運転者の気持ちが車の動きで表現される、私たちを取り巻く全ての人がお客さまであること、良いことも悪いことも常に周りから見られていることを意識して、周囲に気を配って思いやりのある運転を心がけたい。

その為には、人間である以上気分で運転が変わることをまず認識すること、それを踏まえてそれぞれが具体的な対策を立てて実行することが必要であると感じた。

そして、このような講習は繰り返し何度も行うことで少しずつ身に付いていくことであると思う。今後も継続します。
(安原)



今月の工場改善・・・ 安全操業のため

ドレン回収のポンプユニット設置

現在、当工場には、省エネ・省コストを考慮して蒸気ドレンを回収する配管があります。しかし、配管が細く、蒸気ドレンが滞留して、熱効率を下げていました。

このたび、蒸気ドレン回収ポンプを設置することで、効率よく蒸気ドレンを回収できるようになりました。



先月設置した蒸気ヘッダーと併用することで、熱交換器本来の能力を発揮できるようになります。

(勝部)